



日本母乳哺育学会 勉強会

日時：2014年10月11日（土）9：00～12：00

場所：横浜市教育会館

参加費：第29回日本母乳哺育学会・学術集会の学会費に含まれます。

日本では96%の母親が母乳育児を希望しているにもかかわらず、母親の就労の有無別に見ると、就労なしの母親では生後1ヵ月と3ヵ月での母乳育児の割合に大きな変化はないが、就労ありの場合は大きく減少します。仕事と母乳育児は両立しないと思っている女性は多く、母乳育児を行っていても、情報や支援の少なさから復職後の継続を諦めざるを得ない現状があります。加えて日本では育児と就労を両立するための支援もまだ充分とは言えず、実際女性の就労者のうち、妊娠・出産を機に7割が離職しています。母乳育児と就労は両立しうるものである、という認識が広まるためにも、必要な知識と情報を社会全体で共有することは非常に価値のあることです。

今回、シンポジウム形式にて下記の様々な立場から、働きながら母乳育児を継続する女性に必要な支援について学びます。

プログラム

1、基調講演：「女性の社会復帰と母乳育児」

労働経済ジャーナリスト 小林 美希

2、シンポジウム：

- (1) 母乳育児支援者の立場から 昭和大学医学部小児科学講座 滝 元宏
- (2) 母親の立場から ラレーチェ・リーグ横須賀・中央リーダー 齋藤 みゆき
- (3) 職場の立場から(子連れ出勤と母乳育児)

モーハウス、NPO法人子連れスタイル推進協会理事長 光畑 由佳

- (4) 保育園の立場から 横浜市ぽかぽか保育園 園長 千葉 明子
- (5) 法律の立場から ILO駐日代表 上岡 恵子
- (6) 行政の立場から

横浜市こども青少年局子育て支援部保育対策課担当課長 田中 礼子

第29回日本母乳哺育学会・学術集会

会期：2014年10月11日(土曜日)・12日(日曜日)

会場：横浜市教育会館

会長：関 和男(公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター
/総合周産期母子医療センター)

詳細は、学術集会ホームページ<http://bonyu29.umin.jp/index.html>をご参照ください。

次回予告

日本母乳哺育学会主催 勉強会

日時：2015年2月11日(水曜日・祝日)

会場：昭和大学病院 臨床講堂

内容：「ミルク・食物アレルギーについて」、「補足について」などを予定しております。

詳細は、学会ホームページ<http://square.umin.ac.jp/bonyuu/>に掲載予定です。